

野球好きの仲間をたずねて

岡山県本部 森脇良明

岡山市北区祇園の広大な敷地にある、社会福祉法人旭川荘竜ノ口寮には守る会の仲間、池田敏和さんが入所されています。

5月16日（土）16時ごろ吉田・真田・森脇の3人は池田敏和さんを訪問しました。

旭川荘に到着したものの竜ノ口寮がわからなくて、旭川荘の事務局で場所をおしえてもらい、駐車場に車を止めるとなぜか職員の渡辺さんとばったり出会って「びっくり！」しました。渡辺さんは、私たちと池田さんの弟さんとの顔つなぎをするため、来てくださっていたのでした。

待ち合わせをしていた弟さんにあいさつをし、部屋に入ると池田さんはテレビで相撲を見ていました。壁には、弟さん家族と一緒に倉敷三井アウトレット・イオン岡山に買い物に行った時の写真と、山陽新聞社からもらった読売ジャイアンツのユニホームが掲示してありました。

お父さんが巨人ファンだったこともあり、昔から野球が大好きでテレビをよく見るそうです。池田さんに「選手はだれが好きなん？」と聞くと、ゆっくり答えてくれる。池田さんの言うことを聞き取ろうとするが、よくわからない。弟さんの通訳で原監督が好きで、川上監督も好きだったことがわかり納得する。弟さんは池田さんと、家族と一緒にいつか東京ドームに巨人の試合を見に行きたいと言われていました。また、中学生（15才）のころは、松葉づえを利用して歩いていたことや、お父さんが元気だったころは、池田さんは川上町の施設に入所（約20年間）していたため、おとうさんは、池田さんを訪ねるのに川上町まで往復5時間の道のりを1年に5回～6回通っていたこともおしえてもらいました。

おじゃまして1時間があっという間に過ぎ、お茶が運ばれ、そろそろ夕食が始まる時間になったので、握手し再開を約束しお別れしました。

弟さん、職員の渡辺さんにはお世話になりありがとうございました。

